

令和6年度 営農に役立つ研究結果フォーラム

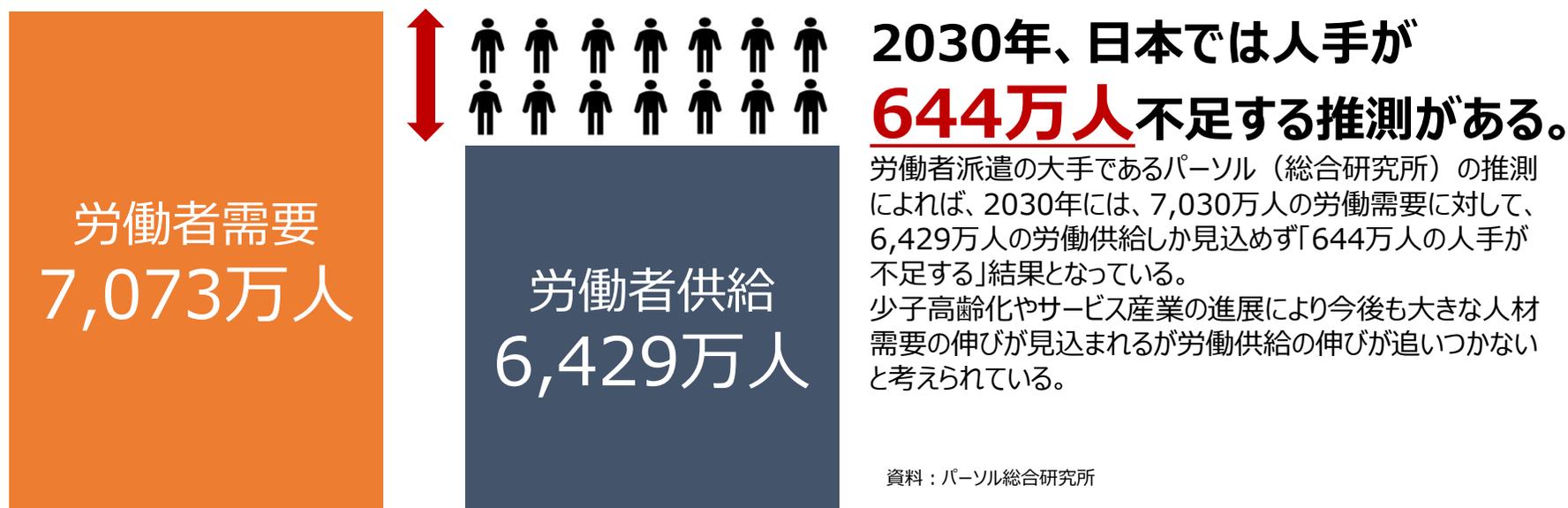
営農支援推進課による労働力不足課題 への対応について



営農支援センター 営農支援推進課 坪 眞史

1. 労働力不足の現状について①

5年後（2030年）の労働市場予測



製造業別にはサービス、医療福祉、卸売り・小売り、製造業の人手不足が非常に顕著な状況だが、これらの業界と人の取り合いになることが想定され、農業分野の人材確保に対して非常に大きな影響が懸念される。

1. 労働力不足の現状について②

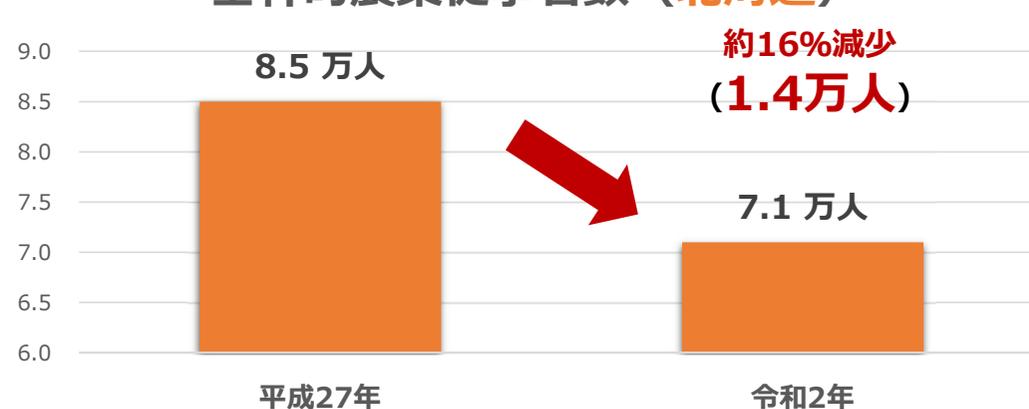
農業就業者人口が減少する中、これまでと同じ手法ではなかなか人手が確保出来ず、いわゆる「農業者」だけでは農業生産を維持することが困難な状況となっている。

資料：「サンセスからみた北海道農業」（農林水産省北海道農政事務所）

基本的農業従事者数（都府県）



基幹的農業従事者数（北海道）



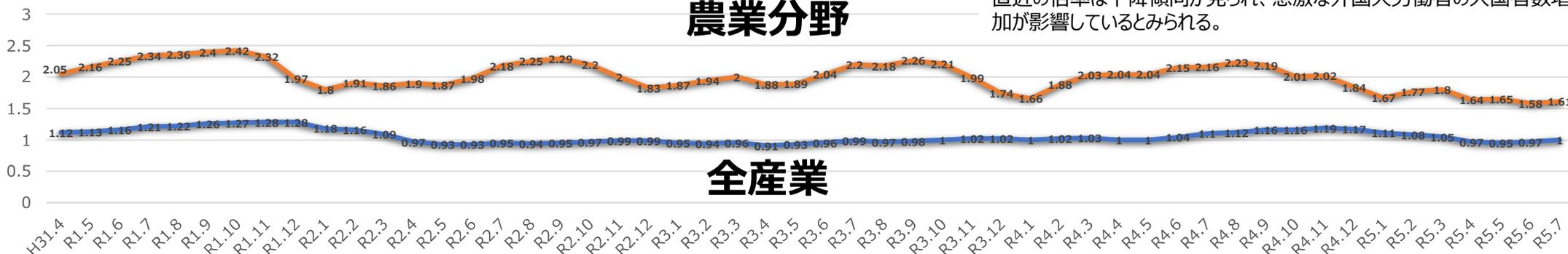
資料：北海道労働局統計資料

北海道内の有効求人倍率

農業分野

全産業と比較し農業は高い水準で推移しており、特に農繁期の求人倍率が高い状況にある。

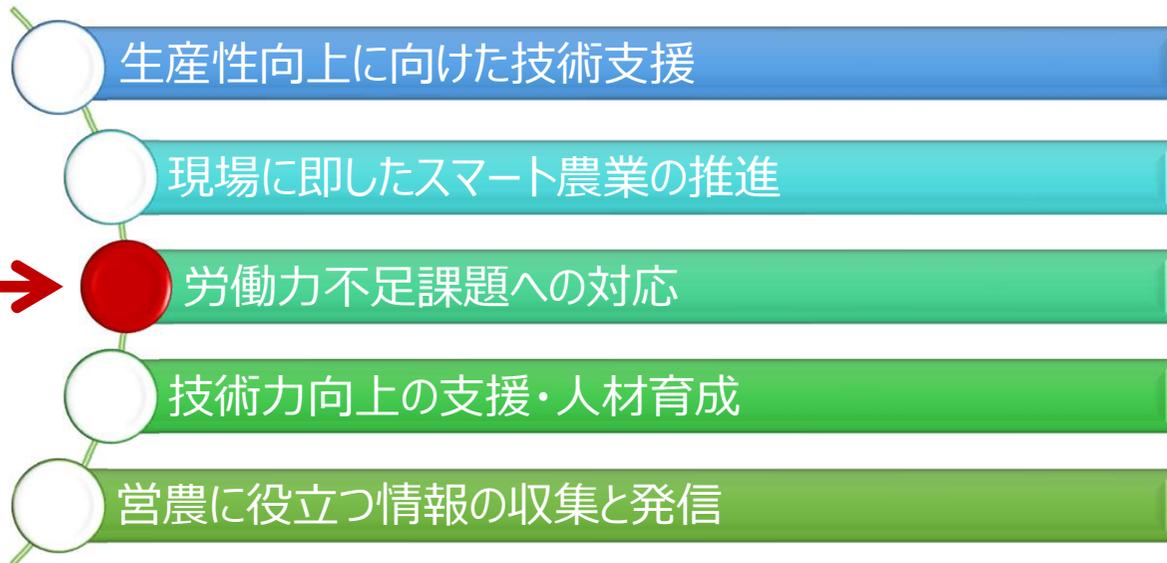
直近の倍率は下降傾向が見られ、急激な外国人労働者の入国者数増加が影響しているとみられる。



2. 本会の7つの重点方策・営農支援センターの取組み方針

本会が掲げるVision2030 めざす姿 実現に向けた7つの重点方策

めざす姿の実現に向けた重点取組項目 7つの重点方策	
1 総合力の発揮による地域課題の解決	5 労働力不足への対応と人材育成支援
2 消費者ニーズと産地の強みをつなぐバリューチェーンの構築	6 みどりの食料システム戦略への対応やSDGsへの取り組みを通じた環境負荷軽減と農業所得向上の両立
3 持続可能な物流体制の構築	7 地域社会の維持に向けた取組強化
4 新技術やスマート農業の推進等による生産力の向上	



営農支援センターの 取組み方針 5つの柱

3. 営農支援推進課による労働力不足課題への対応①

労働力不足課題への対応は多面的な支援が必要となることから、本会単独では行っておらず、北農5連が一体的に支援することを目的に**令和元年から「北農5連JA営農サポート協議会」**を立ち上げ事業を推進している。
(構成団体：JA北海道中央会、JA北海道信連、ホクレン、JA北海道厚生連、JA共済連北海道)

農業人材確保支援事業

担当：中央会

構造的な労働力不足の懸念を踏まえ、JA等による人材確保の取組みを後押しする支援事業を行う。

※令和7年度より事業内容変更の予定

農業経営支援事業

担当：信連

競合する農業サービス事業者への対応として、農業経営コンサルタント事業を発展的に組み替え、専門家と一体となったコンサル対応を行う。

北農5連JA営農サポート協議会 (令和元年から事業開始)

パートナー企業連携等支援事業

担当：ホクレン

北農5連の本業でカバーしきれていない労働力対策事業を進める。

- 有力なパートナー企業との連携による人材供給体制の構築
- 求人サイトを活用した事業展開による人材マッチング機能の確立
- dayworkの推進

農業振興計画検証事業

担当：中央会

第三者視点においてJAの農業振興計画のPDCAを検証する。

調査事業

担当：中央会

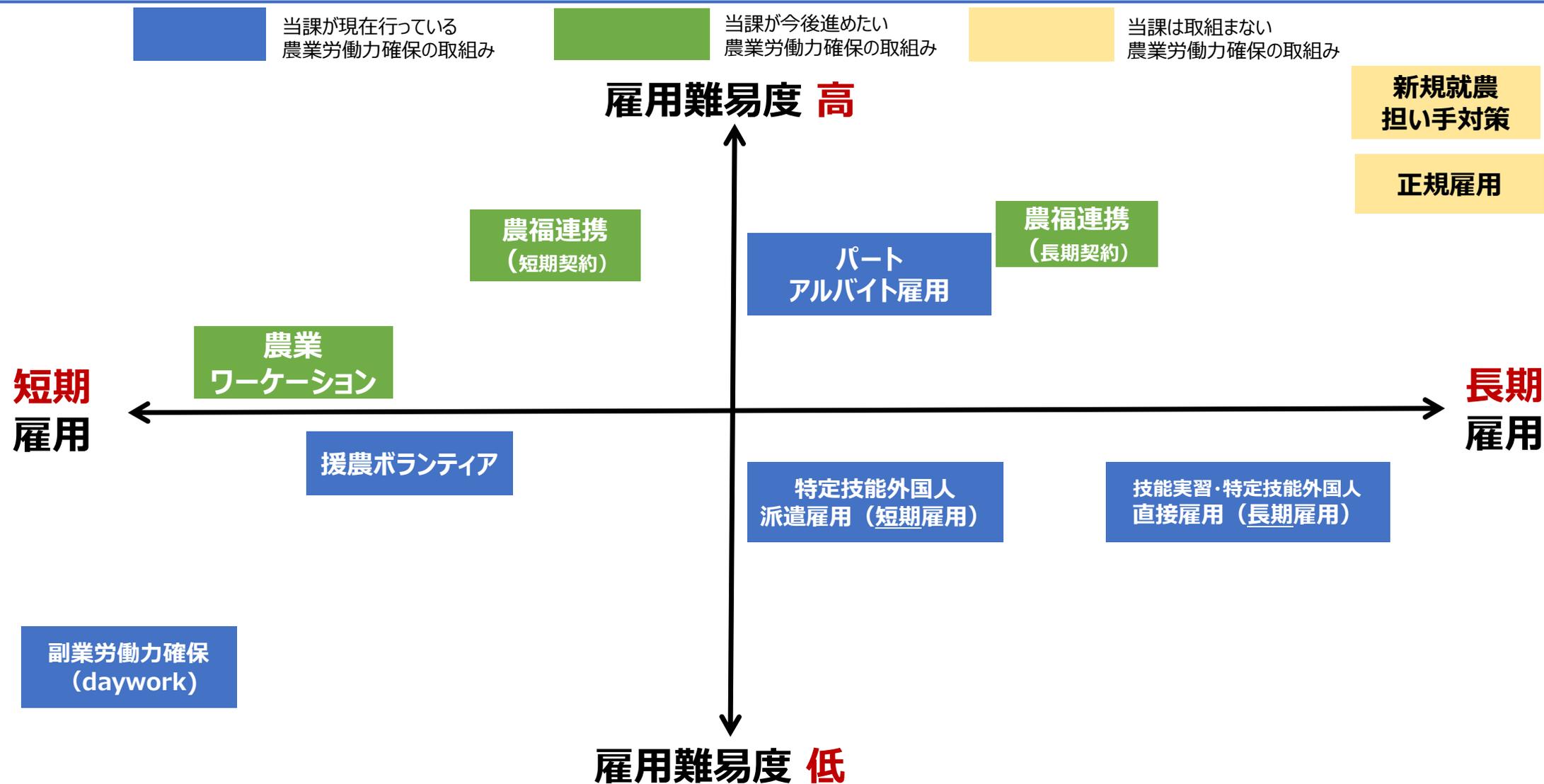
動向に注視が必要な事業者への調査、またはサポ協の方向性について提言を求め、サポ協事業のより一層の強化を図る。

3. 営農支援推進課による労働力不足課題への対応②

労働力不足課題に対する対応は地域、耕種・畜種、主産物等によりJAから様々なニーズがあがっており、そのニーズに沿う提案が必要な状況となっている。



3. 営農支援推進課による労働力不足課題への対応③



3. 営農支援推進課による労働力不足課題への対応④

当課は人材派遣業、外国人雇用に関する各種資格を有していない。又、多種多様なニーズに対応するため、各分野に特化し十分な実績を持つ企業とパートナー企業契約を締結し、人材供給体制を構築している。
(現在は6社体制で運営)

外国人
労働者
活用

耕種・特定技能外国人（派遣）



特定技能外国人材の産地間リレー派遣を行う派遣業者。業界のパイオニアとして事業を拡大。



大手のパーソルホールディングス傘下で外国人の紹介・派遣サービスを展開している。

畜種・特定技能外国人（派遣）



札幌エージェンツ(株)

酪農分野に特化した派遣会社、酪農への派遣実績は道内トップ。自ら、道内で牧場を経営し、研修に活用。

耕畜・特定技能外国人直接雇用支援

CAREER BANK

日本人の派遣事業や職業紹介事業、特定技能外国人の登録支援機関等、幅広く人材サービスを展開。

日本人
労働者
活用

一日農業バイト

鎌倉インダストリーズ(株)



一日単位の農作業バイトアプリ。道内のJAを中心に活用が広まり、令和6年度のマッチング数は75,000件を超える。現在、利用料は完全無料で運営している。

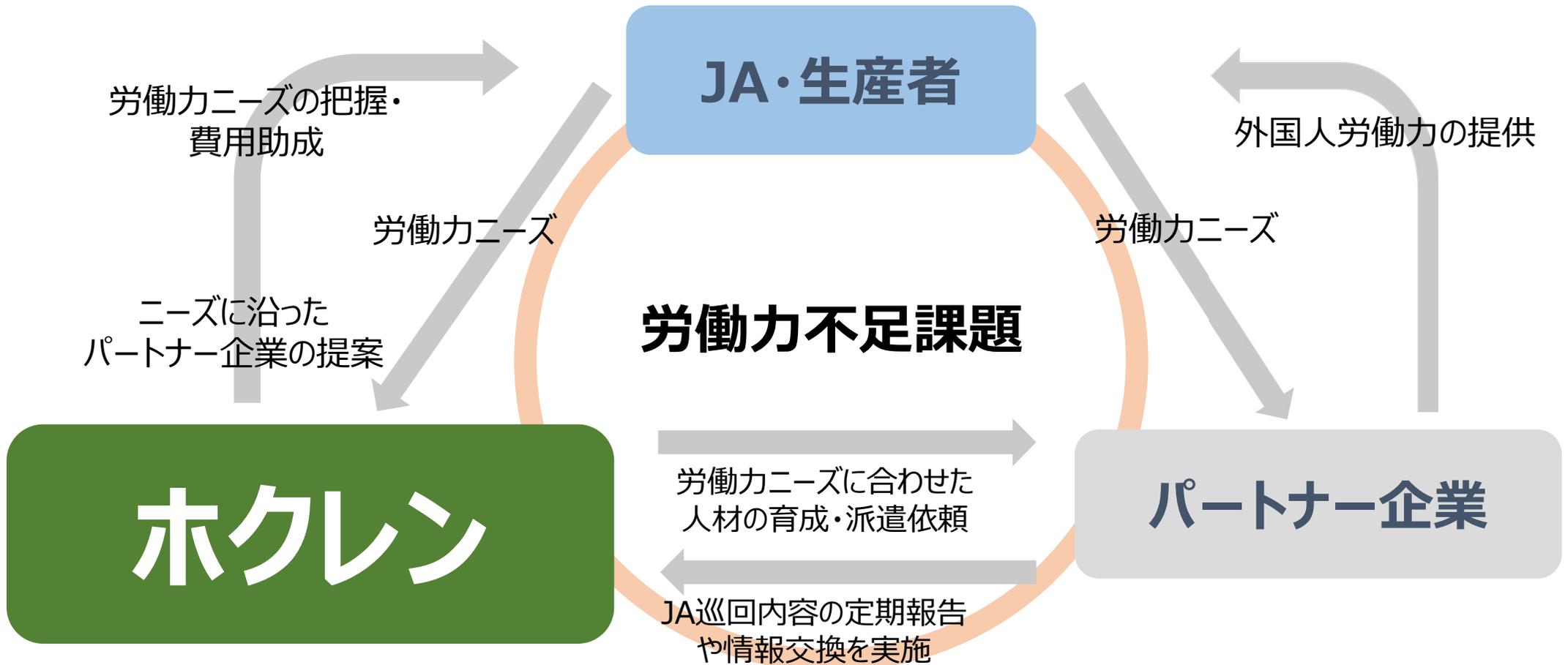
産地間連携・異業種間連携



JTBアグリワーケーションを通し、人・企業・地域を繋げる事業を推進。産地間連携による農作業請負を実施。

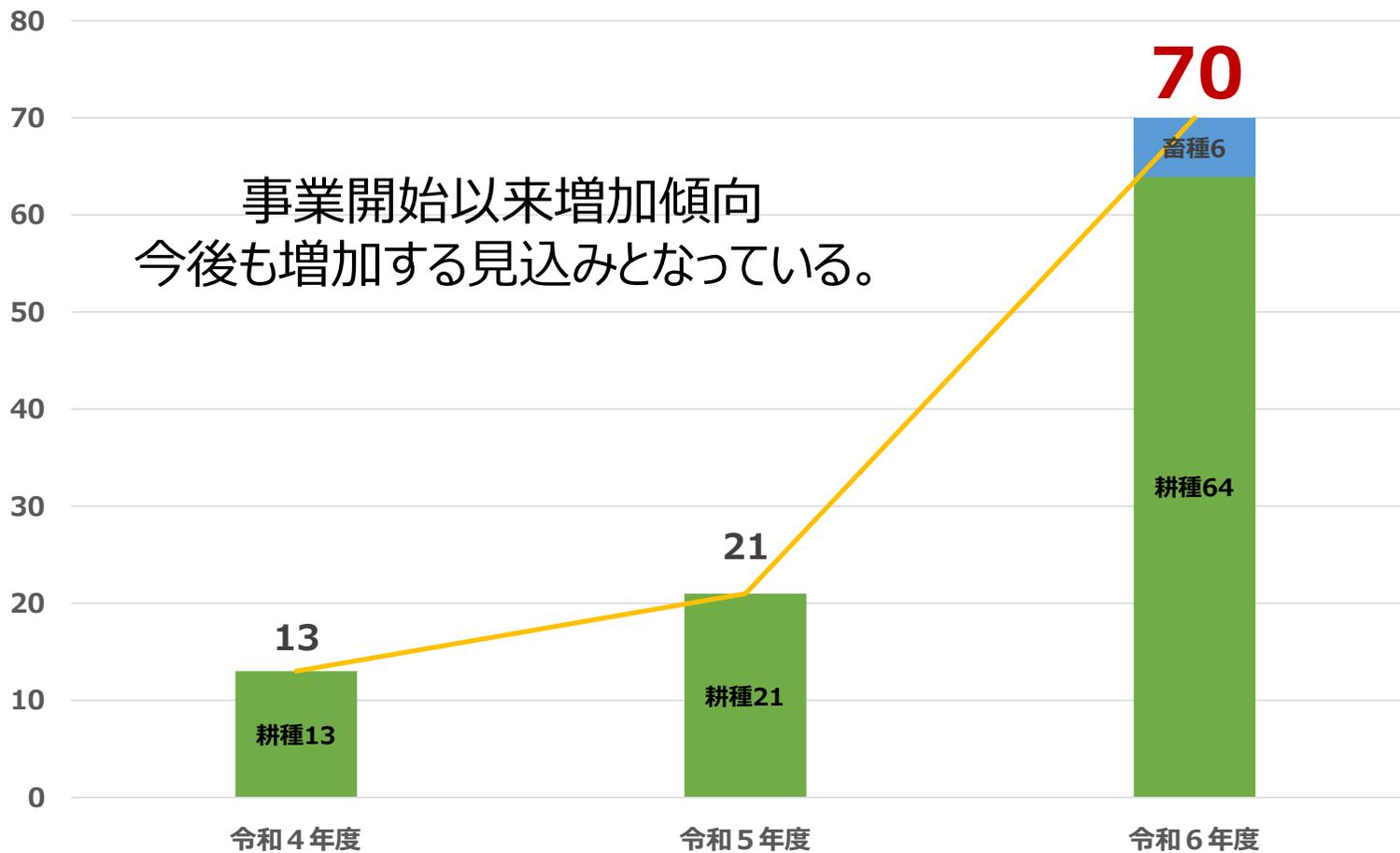
3. 営農支援推進課による労働力不足課題への対応⑤

本会は、JA・生産者からの労働力不足ニーズの把握に努め、ニーズに合ったパートナー企業を提案することで、JAの労働力確保に関する支援を行っている。又、サポート協議会を通じて助成措置も実施している。



4. これまで取組みの状況について①

道内JAによる特定技能外国人の活用状況 (パートナー企業利用分)



JA名	人数	耕種/畜種
① 桧山管内JA	2	耕種
② 胆振管内JA	4	耕種
③ 空知管内JA	6	耕種
④ 上川管内JA	3	耕種
⑤ 上川管内JA	7	耕種
⑥ 上川管内JA	4	耕種
⑦ 宗谷管内JA	2	畜種
⑧ 十勝管内JA	2	畜種
⑨ 十勝管内JA	10	耕種
⑩ 十勝管内JA	12	耕種
⑪ 十勝管内JA	1	耕種
⑫ 十勝管内JA	6	耕種
⑬ オホーツク管内JA	2	耕種
⑭ オホーツク管内JA	7	耕種
⑮ 根室管内JA	2	畜種
合計	70	

4. これまで取組みの状況について②

JAグループ北海道農業求人サイトを運営



JAグループ北海道の求人情報

「おいしい」の現場から、たくさんの笑顔を

当サイトは、農業で働きたい方と農家さん（農業現場）を繋ぐWEBサイトです。



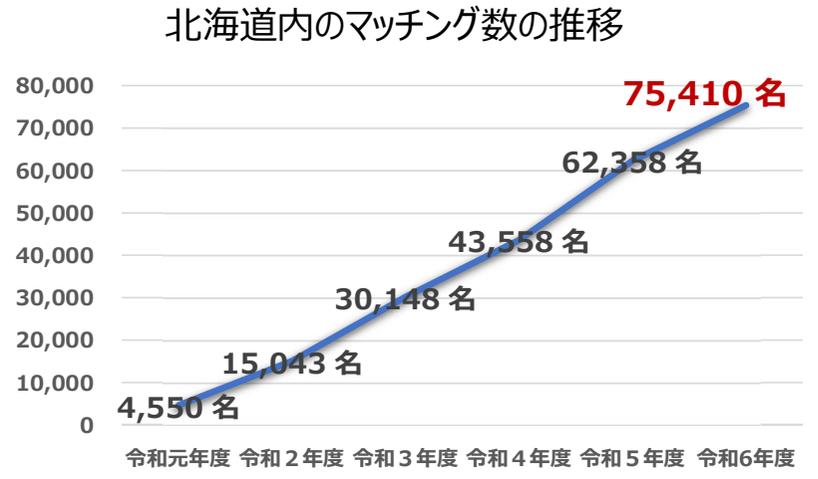
JAグループ北海道の求人情報

求人募集の具体的な条件や応募方法が記載されています。

令和6年度はJAグループ農業求人サイトを道内4JAが活用。年間マッチング数 215名と一定の実績を確保している。

※JAへの直接応募を含む。

一日農業バイトアプリdaywork利用の推進



令和6年度のマッチング数は75,000名を突破。生産者の関心も高くなっており、本会はdaywork活用に関する各種支援を行っている。

4. これまで取組みの状況について③

農福連携の取組み（本会施設）

令和4年度～小樽種子工場
エンバクトランスパック袋詰め作業



令和5年度～旭川鶏卵流通センター
贈答用鶏卵商品の箱詰め作業



令和6年度～ 長沼・恵庭研究農場
ポットづくり、除草作業等



令和7年～くるるの杜で農福連携の取組みが可能か検討中

援農ボランティア等の取組み

首都圏を中心としたボランティアサークルに所属する大学生や農業ボランティアを希望する方を産地に招き、収穫作業支援等を実施。

北海道ミニトマト収穫プログラム 申込書
収穫体験、収穫体験！ 収穫後は採入！
農産物と交流（自由時間）を組み合わせたいプログラムです

1. 実施時期
8/1（木）～ 8/9（金） 8/9日 農作業日、休日1日（総乗人員10名）
7/22
9/16（月）～ 9/24（土） 8/9日 農作業日、休日1日（総乗人員10名）

2. 実施場所
この日の収穫は、北海道産のミニトマト
収穫体験：ミニトマトの収穫体験と収穫体験（8/27～9/1）

3. プログラム内容
①ミニトマトの収穫体験（約1時間）
②収穫体験後は、収穫体験と収穫体験（約1時間）
③収穫体験後は、収穫体験と収穫体験（約1時間）

4. 参加費
参加費は、収穫体験と収穫体験（約1時間）
収穫体験後は、収穫体験と収穫体験（約1時間）
収穫体験後は、収穫体験と収穫体験（約1時間）

5. 申し込みの締め切り
8/30～9/30（休日は除く） 締切時刻は、時刻1,000時
申し込みは、申し込みフォームから、申し込みをお願いします。

6. 注意事項
申し込みは、申し込みフォームから、申し込みをお願いします。

HOKKAIDO 仁木町の農業を応援しませんか？
協力：新たむら農業協同組合

JJA援農支援隊 互の北海道仁木町でミニトマト収穫 9日間
【収穫体験と収穫体験】1日1回（9/1～9/9） 助成費 1,980円

募集枠	募集人数	募集期間	募集料
1	10名	8/1～8/9	1,980円
2	10名	9/16～9/24	1,980円

※このプログラムは、収穫体験と収穫体験（約1時間）
収穫体験後は、収穫体験と収穫体験（約1時間）
収穫体験後は、収穫体験と収穫体験（約1時間）



5. 今後の取組みについて

これまで各JAで採用された特定技能外国人は、各作物選果場の選果要員としての業務が主体となっていますが、現場からはフォークリフトのオペレーターも不足している状況にあるとの声が多く寄せられました。又、特定技能外国人のほとんどは各種免許を保持していないことから単純作業に業務が限定される状況にあり、資格を取得することにより従事させる業務が広がることから令和7年度より北農5連サポート協議会が事務局となり、特定技能外国人を対象としたフォークリフト技能講習を実施することとしました。

フォークリフト運転技能講習（最大荷重1 t 以上可）受講に対する助成

- 開催場所：札幌市内の教習センターにて北農連サポート協議会枠を設定
- 開催予定：第1回 令和7年7月下旬 5日間 第2回 令和7年8月中旬 5日間・39時間
- 定員：各回 10名（最低受講人数各回6名）
- 対応言語：インドネシア語
※○テキスト 日本語/インドネシア語併記、○学科試験 インドネシア語○実技講習、試験 日本語をインドネシアに通訳
- 取組内容：○受講費用の一部を支援○受講者の取りまとめ○講習後の宿泊等の支援

お問い合わせ先

最寄りのJAを通じて

ホクレン各支所 営農支援室もしくはホクレン営農支援推進課までお願いいたします。